

質の高い中古ドメインに 共通する7つの基準！

【推奨環境】

このレポート上に書かれているURL はクリックできます。

できない場合は最新の AdobeReaderをダウンロードしてください。

(無料)<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◆著作権について 当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。使用に關しましては、以下の点にご注意ください。

◇レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

◇本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

◆使用許諾契約書 本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本レポートを甲が受けとることで、甲はこの契約は成立します。

第1条(目的) 本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条(第三者への公開の禁止) 本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第3条(損害賠償) 甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壱萬円を乗じた価格の10倍の金額を支払うものとします。

第4条(その他) 当レポートに沿って実行、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

目次

はじめに！

基準①サイトコロンの結果

基準②JPドメイン

基準③モズとエイチレフスの評価値

基準④オーガニックトラフィックとキーワード

基準⑤被リンクの数と質

基準⑥スパムスコア

基準⑦失効期間

最後に！

はじめに

こんにちは、シンです。

この度は、追加プレゼントの『**質の高い中古ドメインに共通する7つの基準**』のレポートを受け取って頂きありがとうございます。

このレポートでは、あなたがこれから中古ドメインを取得する上で欠かせない**”7つの基準”**についてご紹介していきます。

メルマガでも少しお話しましたが、質の高い中古ドメインを一言で表すなら、『**過去にどれだけ必要とされてきたドメインだったか?**』と
言うことです。

どれだけ、パワーが強かったり、被リンクの数が多いからと言っても、たとえそれがブラックハットでやった表明的な数字であれば、『過去に必要とされていた』とは言えません。

つまり重要なのは、読者から求められていたサイトを運営していた需要のあるドメインだったか？と言うのを見極めて行くことです。

そのために見るべきなのが、これから紹介する7つの基準となります。

検索順位はGoogleが決めることなので、絶対という言葉はありませんが、7つの基準を満たしてるドメインを取得出来れば、高確率で上位表示しやすいです。

もちろん基準を満たしていても、Googleが定めた何かしらのランキングシグナルに引っ掛かってしまい、インデックスが遅かったり、順位が低かったりすることはあります。

ただ、7つの基準を満たせば、全く使えない外れドメインを取得することは無くなります。

なので最低でも、最初から新規ドメイン以上の育てれば使えるドメインは取得できるはずで
す。

慣れるまでは難しいと思いますが、初心者
の人は数をこなしながら、質の高い中古ド
メインの感覚をつかんで行って下さい。

基準①サイトコロン

エキスパイアードドメインで
気になる中古ドメインがあったら、

以下のように『**site:ドメイン名**』
で検索してみてください。

The screenshot shows a Google search interface. The search bar contains the query 'site:ThaiCardsMoney.com'. Below the search bar, there are navigation options: 'すべて' (All), '画像' (Images), 'ニュース' (News), 'ショッピング' (Shopping), '地図' (Maps), 'もっと見る' (More), and 'ツール' (Tools). The search results show approximately 673 items found in 0.27 seconds. The first result is a 'Google Search Console' notification for the domain 'thaicardsmoney.com', which has 9,826,778 indexed pages and 346 backlinks. Below this, two search results are listed for the URL 'https://thaicardsmoney.com/show'. The first result is titled '澳門新用户注册送88-主頁_welcome' and has 0 views and N/A backlinks. The second result is titled '澳門新用户注册送88-主頁_welcome - 网站首页' and also has 0 views and N/A backlinks. The text of the second result mentions a promotion for new users in Macau, with a registration fee of 88 and a 31-day trial period, and notes that the company has saved 200,000 yuan by using recycled materials for their construction site.

なぜsite:で検索するのか？ですが、

- ①ペナルティやアップデートの影響を受けてないか？
- ②SEOを意識してサイト運営をしていたか？
- ③どういった内容のサイト運営をしていたか？

主にこの3点を確認するためです。

もし、サイトコロンで検索してみて、トップページのURLすら出てこない場合は、①のペナルティやアップデートでブログが飛んでいる可能性は少なからずありますので、取得は避けましょう。

逆に、個別記事やカテゴリページなどのURLが出てくる場合は、①の心配はなく**②のSEOを意識してサイト運営していた可能性**が高いです。

なので、ブログとも相性がいいですし、記事作成しても、すぐにインデックスもされやすい傾向にあります。

また、**サイトコロンで調べて出てきた記事タイトルを見れば、③のどう言ったサイト運営をしていたか？**という点も、大体の検討はつきます。

なので、この時点で
アフィリエイト、中華系、アダルト系などの
外れドメインは弾きやすいです。

基準② JPドメイン

TLD(トップレベルドメイン)の中で、個人が取得できて最も日本の検索エンジンで評価されているのが『**jp**』(JPドメイン)です。

JPドメインは日本国内に住所を持つ人しか取得できないので、日本の検索エンジンで評価されるのは同然ではありません。

もちろん、com.net.orgなどのTLDでも、上位表示可能なものは沢山ありますが、これまで僕が中古ドメインを取得した中で、最も上位表示を取れた回数が多いのが、JPドメインです。

もう1つ、JPドメインが評価される要因としては、『**基本的に日本語での運営だから、日本のサイトの被リンクが付きやすい!**』と言うのもあると思っています。

つまり、JPドメイン以外のTLDでも『日本語運営だったサイト』であれば、自ずと日本のサイトからの被リンクがつくので、comドメインなどであっても外国語運営サイトより、日本の検索エンジンでは評価されやすいです。

なので、
エキスパイアードドメインから取得する際は、

- ・ 毎月1日に失効するJPドメインを狙う!
- ・ 1日以外はcom,net,orgなどの日本語サイトを狙う!

といった戦略を取るといいでしょう。

基準③モズとエイチレフスの評価値

ドメイン分析ツールとして有名なのが、モズプロとエイチレフスですが、ダラダラと中古ドメイン選定するのではなく、**短期間で一気に取得したい人は、絶対に使った方がいいです。**

有料ですが、すぐに回収できる金額なので、実は使わない方が機会損失が大きいです。

仮に中古ドメイン販売サイトやオークションで高額ドメインを購入するのであれば、

こういった有料ツールを駆使して、しっかりドメイン調査をしながら、安い中古ドメインを大量に取得した方が、確実に当たりドメインを引き当てることが出来ます。

(※どこから購入するにせよ、基本的に中古ドメインはドメイン分析ツールを使って調査してから取得した方が絶対いいです)

そして、僕がこれまで取得してきたドメインで上位表示されたものは『モズのDA、PA』と『エイチレフスのUR、DR』の数値が、全て平均して高いということです。

詳細リンク	ドメイン	モズの値		スパムスコア	エイチレフスの値	
		DA	PA		UsR	DsR
詳細		15	17	10	17.2	19

もちろんこの数値は、高ければ高いに越したことはないです。

**最低でも、モズのDAとPA、
エイチレフスのURとDR共に、
10以上は欲しいところです。**

なので、エイチレフスの数値は高いのにモズの数値は低い（逆もまた然り）といったドメインは、上位表示が取りにくい傾向にあります。

ツールによって、ドメインの評価値はバラバラなので、どれを使おうか迷っている人は多いと思いますが、

エイチレフスとモズを併用して、どちらの評価も高いドメインを取得するのが確実性が高い
と言えます。

ただ、2つのツール代を出すのが厳しいと言う人は、僕の元コンサル生に作ってもらった

『ドメインスコープ』

といったツールがオススメです。

→[https://www.linuxstolescocode.com/
domainscope/](https://www.linuxstolescocode.com/domainscope/)

こちらのツールは、

- ・エイチレフスとモズの数値
- ・リダイレクトの有無や運用履歴
- ・スパムスコア

など、モズとエイチレフスの知りたいことを一つにまとめたツールとなっています。

検索回数は限られますが、無料でも使用できるので、是非試して見て下さい。

ただ、このツール1つだけでは、これから紹介する基準④は確認できませんので、

僕はドメインスコープとエイチレフスを併用して、質の高い中古ドメインをゲットしています。

基準④オーガニックトラフィックとオーガニックキーワード

『過去にどれだけ指示されていたサイトか？』
と言うのを見るために、**オーガニックトラフィックとオーガニックキーワード**を確認することも欠かせません。

数ある機能の中、これを見るためにエイチレフスが欠かせないと言っても過言ではないぐらいです。

エイチレフスでドメインを検索したら、以下のように結果をグラフで見ることが出来ます。



この両方のグラフに反応がないドメインは、取得する価値はないので避けましょう。

もちろん、どちらの数値も大きければ大きいほどいいです。

ちなみに、オーガニックトラフィックとは、「検索連動型広告(リスティング広告)」などの広告表示を除いた、**検索結果からのトラフィック(サイトへのアクセス数)**のことです。

「自然検索」「ナチュラル検索」とも言われたりしますが、それを意識して作っていたサイトでないと、このグラフに反応がありません。

次にオーガニックキーワードとは、
**ユーザーが自分のサイトにアクセスした時に、
実際に検索された「キーワード」**のことです。

こちらも、SEOを意識したタイトルや記事作りをしてないと、グラフに反応がありません。

つまり、ここを見れば

- ・ どれだけSEOでアクセスを集めてたか？
- ・ どういったキーワードで上位取ってたのか？

と言うのを確認することが出来ます。

もし、
このトラフィックに全く反応がない場合は、

『そもそも検索エンジンからアクセスを集めていなかった・・・』

『キーワードが上位を取れてなかった・・・』

と判断できます。

当然、そういったドメインを取得して
ブログを立ち上げてても上位表示は難しいので、

なるべくオーガニックトラフィックや
オーガニックキーワードが多いSEOを
意識してたドメインを取得しましょう。

基準⑤ナチュラル被リンクの数と質

上位表示を決める一番の基準とも言えるのが、**ナチュラル**についての**被リンクの数と質**です。

もちろん、ただ被リンク数が多かったり、被リンクの質が高ければいいと言うわけではありません。

どれだけ、被リンク数が多く質が高くても、それが自作自演のブラックハットでつけた被リンクであれば、上手くやらないと基本はすぐGoogleにバレるので効果はありません。

(※SEO効果を得るための自演被リンクの正しいやり方は今日の本題ではないので、もし興味がある人が多ければ、またメルマガなどでお話します)

なので、ペナルティを受けずに上位表示を取り続けるには『運営する上で自然とついた被リンクがついてる中古ドメイン』を取得することが重要です。

そして、このナチュラル被リンクを判断するために見るべきポイントが、

- ・『参照ドメインの数とIP数のバランス』
- ・『参照ドメインのDOFOLLOWの数』

となっています。

こちらはエイチレフスでドメインを検索すれば、以下のようにページ右側に表示されます。



まず被リンクの考え方ですが、どれだけ1つのドメインから1000個の被リンクを貰っていても、**評価対象は1つだけ**となります。

なので、1つのドメインから複数の被リンクはそこまで意味がなく、**見るべきポイントは被リンク数よりも参照ドメイン数**なのです。

またその中でも、[NOFOLLOWの被リンクはSEO効果は全くないので、DOFOLLOWの数がどれくらいか？](#)と言うのが重要になってきます。

そして、参照ドメイン数とIP数のバランスも重要です。

なぜなら、一見複数のドメインから被リンクを貰っているように見えても、**実は同じ運営者が自演被リンクを送ってる可能性もある**からです。

そういった場合、基本的に1つのサーバーIPで管理してたりするので、**参照ドメイン数に比べてIP数の方が少なくなる**ことが多いです。

以下の画像のように、**参照ドメイン数とIP数の数は同じ**なのが普通です。

Live links		
クロールページ	34	
参照ドメイン	18	100%
“dofollow”属性 (有効リンク)	16	89%
政府機関の	0	0%
Educational	0	0%
.gov	0	0%
.edu	0	0%
.com	7	39%
.net	1	6%
.org	0	0%
参照ページ	36	
参照元IP	18	
Referring subnets	18	

参照ドメインの方が多く場合は、同じ運営者が複数サイトから被リンクを送ってる可能性が高い。

ちなみに、同じIPアドレスから張られた不自然なリンクは、「評価が下がる」あるいは「プラスの効果はない」と言われています。

また、同じIPアドレスで、複数のサイトから被リンクを貰っていた場合は、その中の一番強いドメインしか被リンクの効果を得られません。

最悪の場合、同じIPアドレスからの被リンクが大量にある中古ドメインは、自作自演で被リンクを張っていると見なされやすいため、

グーグルのアルゴリズムによってペナルティが付与されることもあるので注意が必要です。

なので、『参照ドメイン数=IP数』と言うのが普通なので、このバランスも見てください。

基準⑥スパムスコア

不正行為や偽装行為をしてるスパムサイトでなかったか？というのも確認して下さい。

モズプロかドメインスコープを使えば、スパムスコアの値を見ることが出来ます。

もしスパムの数値が30以上あるサイトは、Googleから低い評価を受けてる場合があるので注意して下さい。

当然、数値は0に近ければ近い方がいいです。

通常、普通にサイト運営していれば30以上行くことは基本的にはないと思って良いです。

基準⑦失効期間

ドメインが失効して、
どれぐらいの期間が空いているか？
と言うのも重要です。

僕の経験上、直近まで運営されてたドメインは、
引き継いで記事を入れた際にインデックスが
早い傾向にあります。

テンポよく上位表示して稼ぐには、
インデックスのスピードも欠かせないので、
なるべく最近まで運営されていたドメインを
取得するといいです。

ウェイバックマシーンを見れば、大体の運営期間は判断できますので、失効して1年以上空いてるドメインは避けた方が賢明です。

もちろんインデックスが遅くても、ドメイン自体に問題がなければ、記事を入れていけばインデックススピードは早くなりますし、新規ドメインよりも上位表示は取れると言うことは覚えておいて下さい。

なので、記事を入れて育てる目的の人は、失効して1年以上経ってるドメインでも大丈夫です。

ただ、2010年以降の検索エンジンは、今のようなアルゴリズムの仕組みとは違ってるので、その期間に失効したドメインは使えないため取得しないで下さい。

最後に！

以上、質の高い中古ドメインに共通する7つの基準をご紹介します。

こういった中古ドメインが上位表示しやすいのかが、イメージ出来たのではないのでしょうか！？

実は先月も新たに『**商標ネタ×中古ドメイン**』で、コンサル生が月10万の安定化に成功したのですが、1日のPV数は200PVでした。

これも、質の高い中古ドメインを取得して、成約率の高いキーワードで上位表示を取れたからです。

決して、

× 特別な才能があったから！

と言うわけではなく、

◎ 初心者でも再現性の高い稼ぎ方をしてる！

と言うのが結果に繋がってるので、
あなたも正しく行動できれば
十分にチャンスはあります。

もちろん、今日紹介した7つの基準以外にも、
細かなチェックポイントは沢山あるので、

引き続きメルマガで紹介したり、
何か面白い企画なども検討しています。

もし7つの基準やドメイン選定する中で、
イマイチ理解できない点などがあったら、
遠慮なくメルマガに返信する形で
質問して頂ければと思います。

では、最後までありがとうございました。

シン

作成者:しん

連絡先:info@shinyear66.com

公式ブログ:<https://shinyear66.com>